

産業廃棄物処理計画書

2025年 6月 20日

香川県知事 殿

提出者

住 所 香川県三豊市詫間町詫間2102番地4

氏 名 大倉工業株式会社

詫間工場長 平尾 敦

電話番号 0875-83-2511



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大倉工業株式会社 詫間工場
事業場の所在地	香川県三豊市詫間町詫間2102番地4
計画期間	2025年4月1日から2026年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	製造業
② 事業の規模	売上高 111億円
③ 従業員数	91名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度2024年度実績】								単位:t
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥	
	排出量	809.26	4.67	0	0	20,587.86	974.83	0	
	紙くず	0	0.30	162.12	0	0	0	0	
	(これまでに実施した取組) 当工場はバイオマスボイラーの燃料として木くずを大量に利用している。又、不良品となったパーティクルボードを自社の破砕機で破砕し、バイオマスボイラーの燃料に利用している。バイオマスボイラーの集塵灰は再生利用業者に排出している。(安定処理後、再生ビーズ原料に加工される。)パーティクルボード製造ラインの異物選別機増設後、混合廃棄物排出量削減の為、メッシュ振動コンベアー導入により、木屑の原料化が図れ混合廃棄物が削減されている。更に、チップ製造ライン2次破砕機の異物選別機あとに分級スクリーンと風力選別機を導入し、木屑の原料化と混合廃棄物の削減に努めている。設備の維持管理を今後も継続する。								
②計画	【目標】								単位:t
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥	
	排出量	798.97	4.03	0	0	20,876.12	1,034.22	0	
	紙くず	0	0	208.52	0	0	0	0	
	(今後実施する予定の取組) 燃え殻量の削減として、ボイラー炉内の部分改修や小まめなメンテナンスを実施し、燃焼効率を高めており、設備の維持管理を今後も継続する。								

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物の中にあつた廃プラ(再生可能な物のみ)を分別する事により産廃業者での固形燃料化から、有価物販売が可能となり、2023年1月より継続的に再生利用業者に有価販売できている。又、チップ製造ライン2次破砕機の異物選別機あとに分級スクリーンと風力選別機を導入し、更なる木屑の原料化と混合廃棄物の削減で効果を出している。又、ヤード比重差選別機から排出された原料可能なサイズの木くずについては、二次破砕機へ還元し、再破砕し減量化を図っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) チップ製造ラインで導入の振動式異物選別機、分級スクリーン、風力選別機並びにボード製造ラインで導入の振動式異物選別機、メッシュ振動コンベアー等の維持管理を徹底継続する事により、混合廃棄物の削減に努める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
①現状	【前年度2024年度実績】 単位:t							
	産業廃棄物の種類	燃え殻	油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0
	紙くず	酸ばいじん	石綿含有産業廃棄物	廃PCB等	引火性廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	
	0	0	0	0	0	0	0	0
(これまでに実施した取組)								
②計画	【目標】 単位:t							
	産業廃棄物の種類	燃え殻	油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0
	紙くず	酸ばいじん	石綿含有産業廃棄物	廃PCB等	引火性廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	
	0	0	0	0	0	0	0	0
(今後実施する予定の取組)								
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
①現状	【前年度2024年度実績】 単位:t							
	産業廃棄物の種類	燃え殻	油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	20,587.86	0	0
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	0	0	0	19,616.48	0	0
	紙くず	酸ばいじん	石綿含有産業廃棄物	廃PCB等	引火性廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	
	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
(これまでに実施した取組) 当工場内で発生する木くずをバイオマスボイラー用燃料として処理している。								
②計画	【目標】 単位:t							
	産業廃棄物の種類	燃え殻	油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	20,876.12	0	0
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	0	0	0	19,868.63	0	0
	紙くず	酸ばいじん	石綿含有産業廃棄物	廃PCB等	引火性廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	
	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
(今後実施する予定の取組) 引き続き、当工場内で発生する木くずをバイオマスボイラー用燃料として処理する。								

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度2024年度実績】		単位:t						
産業廃棄物の種類	燃え殻	油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	
(これまでに実施した取組)								
【目標】		単位:t						
産業廃棄物の種類	燃え殻	油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	
(今後実施する予定の取組)								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度2024年度実績】		単位:t						
産業廃棄物の種類	燃え殻	油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥	
全処理委託量	809.26	4.67	0	0	0	974.83	0	
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	
再生利用業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	0	
認定熱回収業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	0	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	0	
紙くず	0.30	162.12	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	
	0	162.12	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	
(これまでに実施した取組) バイオマスボイラー集塵灰の再生利用業者への排出を継続する。(安定処理後、再生ビーズ原料に加工される。) 混合廃棄物の中にあつた廃プラ(再生可能な物のみ)を分別する事により産廃業者での固形燃料化から、有価物販売が可能となり、2023年1月より継続的に再生利用業者に有価販売できている。引き続き継続する。								

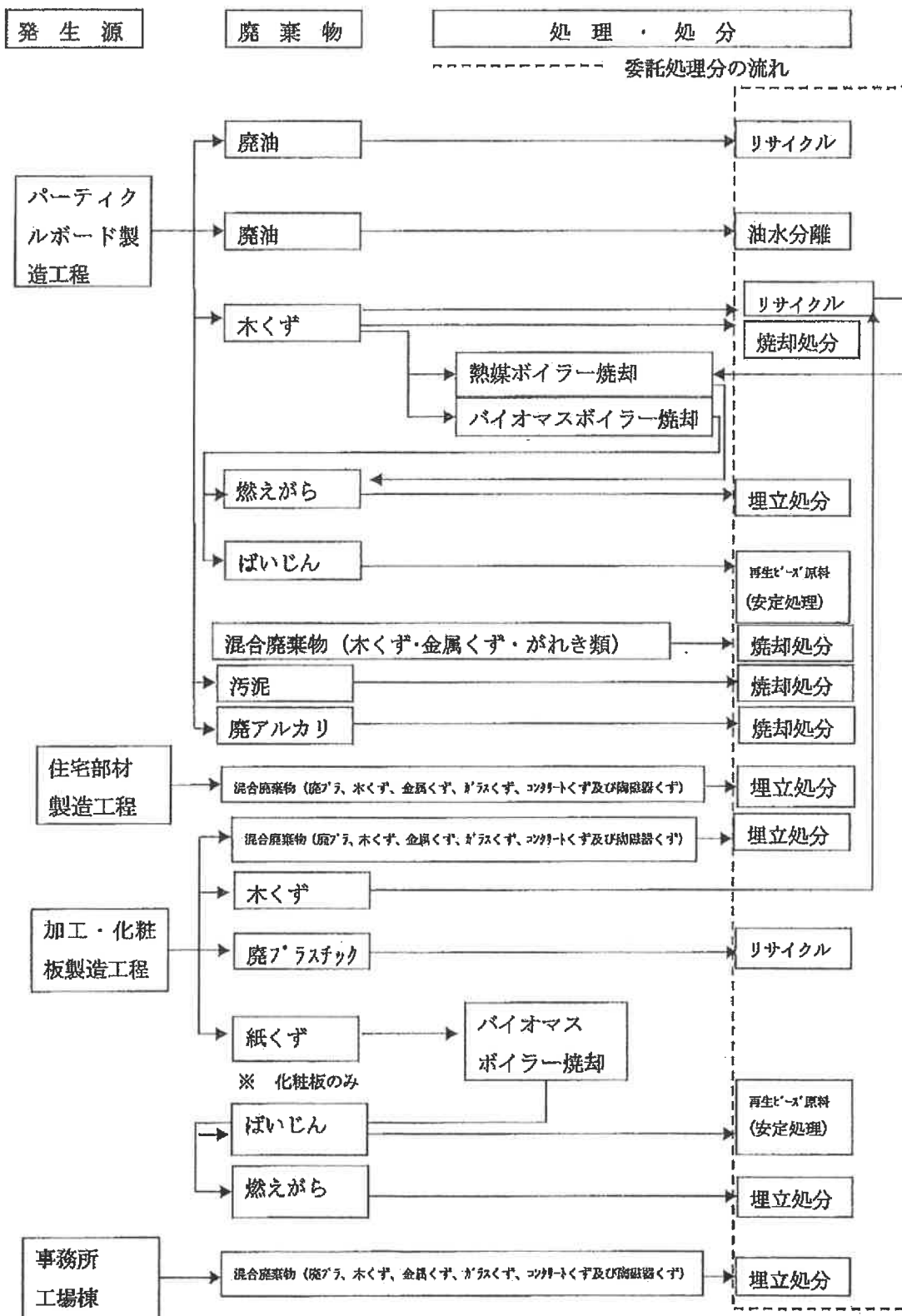
【目標】		単位:t						
産業廃棄物の種類	燃え殻	廃油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥	
全処理委託量	798.97	4.03	0	0	0	1,034.22	0	
優良認定処理業者への処理	0	0	0	0	0	0	0	
再生利用業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	0	
認定熱回収業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	0	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	
紙くず	廃酸	ばいじん	石棉含有産業廃棄物	廃PCB等	引火性廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	
0	0	208.52	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	208.52	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
(今後実施する予定の取組) チップ製造ラインで導入の振動式異物選別機、分級スクリーン、風力選別機並びにボード製造ラインで導入の振動式異物選別機、メッシュ振動コンベアー等の維持管理を継続徹底する事により、混合廃棄物の削減維持に努める。								
※事務処理欄								

# 産業廃棄物処理計画書

様式第二号の八（第八条の四の五関係） 別紙

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

## ④産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

大倉工業株式会社 詫間工場

# 産業廃棄物処理計画書

様式第二号の八（第八条の四の五関係） 別紙

（管理体制図）

